

第1回田原市行政改革推進委員会会議録

○日時 令和元年5月31日（金）
午前10時～午前11時51分

○場所 田原市役所 南庁舎4階 政策会議室

開会

〈企画課長〉

公私とも御多忙中のところお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。私は、田原市行政改革推進委員会の事務局を務めさせていただきます企画課長の太田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。開会に先立ち、配布資料の確認をさせていただきます。

事前送付資料としまして、会議次第、資料1出席者名簿及び配席図、資料2田原市行政改革推進委員会の会議運営等、資料3第3次田原市行政改革大綱の進捗状況、資料3附属第3次田原市行政改革大綱進捗状況補足資料、資料4田原市の現状、資料5（仮称）第4次田原市行政改革大綱の方向性について（案）、また、本日の配布資料としまして、辞令、市長諮問文の写し、委員連絡票、チューブファイル（ハードカバー）、第3次田原市行政改革大綱（概要版）、行政改革に関する講演会の開催についてでございますが、不足等ございましたら、お申出いただきますようお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、定刻となりましたので、ただ今から、第1回田原市行政改革推進委員会を始めさせていただきます。本日は、第1回目の会議ということで、会長が選出されるまでの間、私が議事の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。なお、後ほど会議の運営等について御説明申し上げますが、会議は原則として、公開とさせていただきます。マスコミの方々の取材を許可しておりますので、御了承いただきたいと存じます。本会議は、「田原市行政改革推進委員会会議運営規程」によりまして、委員の半数以上の出席で成立と定められております。本日の出席委員は、全10名中10名でございますので、会議は成立いたします。

1 辞令交付

〈企画課長〉

それでは次第に沿って進めさせていただきます。はじめに、「1 辞令の交付」をいたします。辞令の交付については、市長から皆様お一人おひとりにお渡しするのが正式ではございますが、本日は時間の都合もありますので、略式として、あらかじめ皆様のお手元にお配りさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、山下市長から御挨拶を申し上げます。

2 市長あいさつ

〈山下市長〉

みなさん、こんにちは。第1回目の行政改革推進委員会へ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。これまで行政改革に取り組んでまいりましたが、今年度で第3次の取組が終わるということで、第4次の行政改革を策定する、そのために皆様の御意見をいただく場がこの委員会の

趣旨でございます。現在の田原の状況を申し上げますと、豚コレラがまだ落ち着いているわけではございません。これまでに35,000頭の豚が殺処分されてしまいました。105,000頭のうち、およそ3分の1の豚がいなくなってしまったということで、とにかく押さえ込むことが先決で、消毒などを一生懸命行っているところでございます。

それから現在は水が不足しております、設楽ダムの建設が進んでおりますけれども、今年度は予算も大分ついたというところで喜んでおりますが、令和8年度の完成を目指して我々も一生懸命やっているところでございます。

さて、今日本は人口減少、少子・高齢化、この3つの大きな流れにどう対応していくか、これが問われているものと思います。また、田原市においては、財政状況も大変厳しいことが予想されておりますので、そうした中で職員の意識改革をして進めていかなければいけないと思っております。そして次の世代の人に、どういった田原を引き継いでいくのか、皆さんの御意見を伺いながら、第4次大綱を策定していきたいと思っております。これから会議を重ねてまいります、是非自由な御意見をいただきたいと思っておりますので、これからよろしくお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

〈企画課長〉

ありがとうございました。なお、会長が決まる前ではございますが、今回の行政改革に関する市長の諮問文の写しを、皆様のお手元にお配りしておりますので、よろしくお願いいたします。

3 自己紹介

さて、本日は、初めての委員会でもございますので、ここで委員の皆様の御紹介をさせていただきます。併せまして、出席しています事務局側の職員の紹介もさせていただきます。

大変恐縮でございますが、資料1「出席者名簿」の順に、自己紹介という形でお願いしたいと思います。それでは、着座にて順次お願いします。

＜委員・企画部長・企画部次長・事務局 自己紹介＞

〈企画課長〉

以上、私を含めまして4名で、この委員会の事務局を担当してまいります。今後につきましては適宜担当課も含めまして全庁的に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、ここで市長は、他の公務がありますので、大変恐縮に存じますが、退席させていただきます。御理解をよろしくお願いいたします。

4 議題

会長の互選について 議題1

〈企画課長〉

続きまして、4の議題に入りたいと思います。はじめに、「議題（1）会長の互選について」を議題とします。この委員会をとりまとめ、代表していただく会長を選任していただきます。会長は、

田原市行政改革推進委員会設置条例第4条第1項により、「委員の互選によりこれを定める」と規定されています。皆様の互選により選出していただくわけですが、どなたか、御意見ございませんか。

委員

第3次行政改革大綱の策定でも会長を務められており、経験豊富な、愛知大学の戸田先生がふさわしいと思いますが、いかがでしょうか。

〈企画課長〉

ただいま、「戸田委員さんに」というお声がありましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

〈企画課長〉

「異議なし」の声がありましたので、当委員会の会長は「戸田委員」にお願いしたいと思います。それでは、戸田委員、会長席にお移りください。それでは、ここで、戸田委員に会長就任の御挨拶をいただきたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

〈会長〉

あらためましておはようございます。ただいま御指名いただきましたので、第4次大綱の策定を目指して、大変重責ではございますが、会長を務めさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

〈企画課長〉

ありがとうございました。それでは、ここからの議事取り回しは、当委員会設置条例第5条に基づきまして、会長さんをお願いいたします。議事進行への御協力、ありがとうございました。

会長職務代理者の指名について **議題2**

〈会長〉

それでは、ここから、私の方で議事を進めてまいります。皆様におかれましては、円滑な議事進行に御協力をお願いいたします。後ほど事務局から説明があるかと思いますが、この会議は「田原市行政改革推進委員会会議運営規程」に従いまして、運営を行います。

「(2) 会長職務代理者の指名について」を議題とします。これについては、当委員会設置条例の第4条第3項に「会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する」とありますので、私から指名させていただきます。地域コミュニティ連合会の理事である、渡邊委員さんをお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(渡邊委員了承)

〈会長〉

それでは、渡邊委員、一言御挨拶をお願いします。

〈会長職務代理〉

ただいま御指名いただきました渡邊でございます。行政についてはあまり詳しくありませんが、この場をお借りして、勉強しながら職務代理としての職責を果たしてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

会議録署名委員の指名について **議題 3**

〈会長〉

続きまして、「(3) 会議録署名委員の指名について」を議題とします。会議録署名委員の指名は、会長の専決事項となっていますので、私から指名させていただきます。委員名簿の順番でお願いしたいと思いますので、第1回目は、魚躬委員にお願いしたいと思います。よろしくお願ひをいたします。

(魚躬委員了承)

田原市行政改革推進委員会の会議運営等について **議題 4**

〈会長〉

続きまして、「(4) 田原市行政改革推進委員会の会議の運営等について」を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

(資料2について大堀主任より説明)

〈会長〉

ありがとうございました。ただ今の説明について、何か御質問等がございましたら、御発言をお願いします。

(質問なし)

〈会長〉

主に体制とスケジュールの内容でした。特に質問等無いようですので、今回の行政改革の推進にあたっては、これを基本に、必要に応じ調整しながら進めることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

〈会長〉

御異議も無いようですので、原案どおりの体制及びスケジュールで進めることとします。

第3次田原市行政改革大綱の進捗状況について **議題 5**

〈会長〉

続きまして、「(5) 第3次田原市行政改革大綱の進捗状況について」を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

(資料3について大堀主任より説明)

〈会長〉

ありがとうございました。詳細については補足資料に記載があります。この案件については、採決をとるものではございませんが、ただ今の説明について、何か御質問等がございましたら、御発言をお願いします。これは4次大綱を考えるベースとなりますので、内容や評価方法など何でも結構ですので、御意見等あればお願いいたします。

委員

今年度終了時点でBやCの場合の来年度以降の取扱いはどうなるのでしょうか。

〈企画課主任〉

そのまま4次大綱に引き継ぐ場合もございますし、時代の変化に合わせて内容を見直し、引き継ぐものもあろうかと思えます。

〈会長〉

評価がAだからといって、取組が終わりというわけではないものもあります。例えば運転免許の返納についてはもういいのかというと、これから状況はより厳しくなっていくと予想されますので、必要と考えられます。事業については、その見方でも変わりますので、4次に向けてこうしたほうが良いという意見があればいただきたいと思えます。他いかがでしょうか。

委員

評価の基準がどうなっているのかについてお伺いしたい。

〈企画課主任〉

判定の基準については、第3次を作る際、A～Dで評価しようと定めたものになりますが、これが所管課の感じ方によっても異なっている状況です。第4次では評価の方法についても、例えば数値目標を定めるといったように、皆さんにも分かりやすいものとする必要もあると考えています。

〈会長〉

まち・ひと・しごとの総合戦略では、事業ごとにKPIを定めて、指標を用いて評価していますが、この3次大綱では、より広く、事業の全体像を捉えて進んでいるかどうかを見ているということになります。今事務局がおっしゃったように、より評価をシャープにしようという考え方もあると思えます。これは第4次大綱のありようによって変わってきます。

次第にもありますが、最期に4次大綱の方向性について、皆さんに御意見頂戴しようと思いますので、それに向けて現状などを説明いただいているという状況でございます。

その他いかがでしょうか。ないようですので、次の議題に移ります。

田原市の現状等について **議題6**

〈会長〉

続きまして、「(6) 田原市の現状等について」を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

(資料4について佐々木係長より説明)

〈会長〉

ありがとうございました。田原市の現状について、何か御質問等がございましたら、御発言をお願いします。

2ページの市職員のところで、田原市は職員が減っていますが、他の東三河の自治体と比べますと、職員1人あたりの人口数は一番少ないわけで、これをどう解釈すればよいでしょうか。

〈企画課長〉

他の自治体では病院を持っていたり、保育所の多くが民間運営であったりと、それぞれの自治体によって母数が異なることを御理解いただいた上で、田原市につきましては、平成28年に職員数の適正化計画を定めております。そちらでは、令和3年の4月1日時点で、657人という目標を定めており、現時点で達成しているという状況でございます。

〈会長〉

単純に比較できないということで、行政職なら行政職といったように、母数を合わせてもらえればと思います。

委員

全職員と普通会計の職員とありますが、違いを教えてくださいと思います。

〈企画課長〉

全職員には、特別会計で見ている職員が含まれております。特別会計とは上下水道事業や、豊橋では病院事業、蒲郡であれば競艇事業など、一般会計とは別で見ているものです。特別会計で見ている職員数を除いたものが普通会計の職員数となります。表が分かりにくくなっており、申し訳ございません。

〈会長〉

普通会計の職員数で割ると、数字の比較がしやすいということですね。なかなか厳しい人口や財政の状況でございますが、他に御意見よろしいでしょうか。

委員

現在の状況は分かるのですが、市が目指す目標や期待値との比較による評価はされているのでしょうか。他自治体との比較ではなく、田原市の狙いと現状との比較があったほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

〈企画課主任〉

公共施設に関しては、別の計画で維持管理コスト等の削減目標を定め、各課取り組んでいるところです。

委員

そういった目標に対して、現状どこまで進んでいるのか、そういったことを聞くことができるとよいと思います。公共施設だけでなく、人口についても、他の指標についても具体的な目標との比較があれば資料として分かりやすいと思います。

〈会長〉

行政の場合、全部の目標を収益等の一律の基準で切ることができないため、各計画で目標を定めており、指標の質が異なっているということもあります。人口についても、まち・ひと・しごと総合戦略で目標としていますが、これまでは事業も施設配置も人口拡大を反映してきたものですが、これからは人口減少に対応しなければならない状況ですので、指標の意味が異なってくることもあります。とは言うものの、指標があればそれを並べて示して、その指標がどういうものなのか見しておくことは必要と思いますので、資料については表示しておくほうが分かりやすいと思います。

その他よろしいでしょうか。

(仮称) 第4次田原市行政改革大綱策定の方向性 (案) について **議題7**

〈会長〉

それでは最後に、「(7) (仮称) 第4次田原市行政改革大綱策定の方向性 (案) について」を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

(資料5について三ツ矢主事より説明)

〈会長〉

ありがとうございました。ただ今説明のありました方向性 (案) に沿って、来年3月の大綱策定に向けて、行政改革の基本的な考え方を整理・検討していきたいとのこととございます。ただ今の説明について、何か御意見、御質問等がございましたら、お願いします。あるいは、行政改革の進捗状況や田原市の現状などを踏まえ、「こういう視点を加えるといいのではないか」「こういう点に力を入れるとよいのではないか」といったような御意見がありましたら、あわせて御発言をお願いします。

委員

今日市役所を訪れて、窓口に外国の方がいらっしゃった。大きな農家では、外国の方を入れないと仕事が回らないと聞いております。労働力という点で、今後外国の方の力が必要になるのではないかと思います。そういった観点から言えば、外国人の方が来たいと思えるような街にする必要がありますし、外国人に関する記載についても必要だろうと思います。

〈企画課長〉

今後増えるであろう外国の方に対するサービス向上という視点は大切でございますので、そういった観点からも今後事業内容を検討していきたいと思っております。

〈会長〉

個別の事業については今後検討していくわけですが、視点として外国の方への対応も入れていくべきだという意見でした。

本日配布資料の第3次大綱の概要版がございますが、こういった形で第4次大綱ができるわけです。基本的な方針があつて、取組姿勢があつて、そこからアクションプランとなっています。基本方針はアクションプランに向かう方向性を決めるものです。これから数回研究会がある予定ですが、そのなかで順次内容を詰めていきます。資料2のスケジュールを見てみますと、第1回研究会で基本方針の提案、行政サービスの課題確認、第2回でアクションプランの検討、第3回で中間とりまとめ、必要に応じて4回目を開催し、第2回の委員会で市長への答申をまとめる流れとなっています。

本日の議論の「方向性」ですが、基本方針に至る前のものですので、いろんな意見を出していただいて、それをまとめながら方針を検討していく、そういった流れとなっています。

委員

人口減少していくことを前提として、業務の効率化を目指すものとなっていると思いますが、もっと人口の流入を促すような視点を入れてみてはどうでしょうか。土日にはめっくんはうすにも多くの人がいらっしゃいますし、42号線沿いではサーフィンに来られる方も多く見られます。

広報をしっかりとするといい、人が来るようにするための事業の視点が薄いと思いました。人口が減っていくなか、人口維持や人口を増やすといった視点を入れていく必要があると思います。

〈会長〉

改革の視点という点で、攻めの視点が無いという意見でした。今資料に記載されているのは、AIやICTといった業務の効率化といった、国でも議論が進んでいるようなものになります。

いろいろな視点があると思います。人口を増やしていくという視点もありますし、官民の連携の境を取るといったこともあると思いますし、稼げる自治体という視点もあると思います。そうした視点についてこの委員会のなかで議論していきますので、他にも御意見ある方はお願いします。

委員

子どもたちが減っているということが問題で、実際に地域の子どもたちが減ってきています。空

き家対策についてもいろいろ進められていると思いますが、ある地域では、高齢者が住んでいたところに新しい方が家を建てて若返りが起こるようなことも話に聞きますので、難しい問題もあるかと思いますが、そういった若い方が増える対策を考えていただけるとよいと思います。子どもの声が聞こえる地域は、やはり将来性があると思います。

もう一点は、免許の返納については、免許を返納してしまうと買い物も病院も行けないといった切実な問題があるから進まないということがあります。今はすごく無理をして乗っている現状です。田原市はタクシー券の配布など免許返納者への対応も充実しているかと思いますが、タクシーにも乗れないような方もいます。自宅にいて、医療が受けられる、買い物の配達が受けられる、そういったサービスが充実してくると免許の返納率も上がると思います。厳しい財政状況のなかで難しいかもしれませんが、地元で暮らすなかでそう感じております。

委員

南部校区では、大きな宅地造成がありまして、新しい家も建って、一時だけかもしれませんが、人が増えたということはよかったですと思います。空き家については、活用を考えていても、なかなか行動に移すことが難しいと思います。

〈会長〉

これまでの第1次大綱、第2次大綱の取組を見ても、第1次では合併した新市の土台づくりとして、行政運営のスリム化をテーマとしていました。第2次ではスリム化を前提に、参加と協働ということをやテーマとして、民間活用を導入していこうというものでした。第3次については、共感と連携ということで、市職員だけでなく、市民に共感を得られないと改革は進まないという視点で方針を定めました。

第4次をどうするかといったことで、今の皆さんのお話を聞くと、従来の行政改革は行政のスリム化が主だったわけですが、持続可能な田原市を目指すために攻めの視点が必要というものでした。話をあまり広げすぎると総合計画になってしまいますので、そこまで広げられないですが、田原市を持続可能なものとしていくためには、今ある内輪の資源だけではできないという意見に感じました。

次の研究会では第4次の基本方針を決めていく作業となります。方向性の新たな改革の視点というところが大きく変わる要素だろうと思います。皆さんからの意見にありました、外国人への対応、子どもの減少、高齢化への対応、そういった視点も必要だろうということでした。

他に御意見いかがでしょうか。

委員

ネガティブな面での改革も大切ですが、ポジティブな面での改革も必要と思います。この地域の高校を卒業した若者がどうしても一度市外へ出てしまうため、人口を減らさないためにも、この地域に戻ってきたくなるような取組を行っています。行政改革の範疇にどこまで入るか分からないですけれども、多子社会の実現に向けたアクションにつながるような事業が取り入れられればと思います。

委員

地元で暮らしているなかで感じる場合があります。田原市が3町合併をして市域が広くなりましたが、事業を行う際に、どこに重点を置くかという点、旧田原町が中心になることも多いと思います。旧3町間で距離があるものですから、市役所まで来るのに30分かかるわけです。資源化センターや火葬場も、住民の不安としては、例えば葬式を挙げるのにこちらまで来るということであれば不便を感じる部分もありますので、そういった部分をどう解消していくかということが重要かと思えます。

また、子どもが増えていくということも重要と思えます。生産労働者の人口を増やすということであれば、外国人の方を積極的に受け入れていく、そういった方が安心して暮らせる状況にすることが必要だと思います。

また、専門の先生から伺った話では、渥美半島はすごくいい地形で、外国人観光客の需要もあるなかで、受け入れるか受け入れないかは地元のやる気の問題ということでした。人の手が入っていない自然の地形が素晴らしいところがあるようで、地元に住んでいるとなかなか分からないのですが、地元の人がいざと渥美半島の良さを認識して、そういったところを全面的にアピールして、観光客に来ていただけるように。

なかには定住してもらえるように、空き家があれば、子ども連れの方に住んでいただいて、十数年暮らしていただければお分けしますよという施策で人口が増えている地域もあると聞いています。定住するとなれば職が必要となりますので、企業誘致にも力を入れてもらって、街が活性化して、人口が増えれば税収も増えるということで、そういったよい循環に持っていけるような事業ができるとよいと思います。

〈会長〉

施設の転用、観光や産業面の振興、そういったものも大切という意見でした。
他にいかがでしょうか。

委員

いろいろ新聞でも田原市の話題がでておりますが、例えばサーフタウン構想ですとか、そういった施策との関連を持たせてはどうでしょうか。地方では定住者が増えているところもあります。長崎県の福江島は人口が増えており、そういった成功している地域を参考にしながらやっていくのもよいと思います。

〈会長〉

成功している地域を攻めの部分で参考にしようかという意見でした。

委員

先ほど車の話が出ておりましたが、自分としましては、車に乗れなくなったときの医者や買い物は不安に思うことがあります。そういった不安を少しでもなくすことができるような方向を望んでいきたいと思えます。

〈会長〉

第4次大綱では交通施策も入ってくると思います。具体的内容については今後詰めていくこととなります。他よろしいでしょうか。

それでは、この方向性（案）に沿って、皆さんの御意見を反映させながら進めることで、御異議ございませんか。

（異議なし）

〈会長〉

御異議もないようですので、今後課題の抽出等を行ってまいりますので、よろしくお願いたします。また会議終了後に気になる点等ございましたら、委員連絡票またはメールにて事務局まで、来週中までに御意見いただければと思います。

本日の議題は以上となります。

その他

〈会長〉

その他について事務局ありますか。

（事務局より「研究会の日程について」及び「行政改革に関する講演会について」の説明）

〈会長〉

ありがとうございました。次回は7月2日(火)午後1時30分からということで、よろしくお願いたします。以上を持ちまして、第1回田原市行政改革推進委員会を閉会といたします。長時間にわたりお疲れ様でした。